

2018年“江蘇杯”中国語スピーチコンテスト(中部東海地区大会)実施概要

本コンテストは、今年で4年目を迎えます。

日中平和友好条約締結40周年記念の年にあたる今年、高等学校の参加対象地区を東海・北陸地区に拡大しました。大学の部は中部東海地区に加え、南京大学の一部提携大学も参加します。

“江蘇杯”は中国語を披露するための活躍の場と、江蘇省への文化旅行や中国屈指の大学で学ぶ機会等を提供します。

日中両国民の理解と友好を深め、日本の学生の中国語学習熱を高めるために、江蘇国際文化交流センターと南京大学、愛知大学の協力のもと、今年も盛大に開催します。

1. 主催

日本側：愛知大学

中国側：江蘇国際文化交流センター、南京大学

2. 後援：中華人民共和国駐名古屋総領事館、愛知県、一般社団法人中部経済連合会、一般社団法人日中文化協会、株式会社中日新聞社、一般社団法人東海日中貿易センター、中青旅日本株式会社、特定非営利活動法人愛知県日本中国友好協会、特定非営利活動法人中部日本華人卓球協会、愛知大学孔子学院

3. 開催日時・会場

高等学校の部

2018年12月15日(土) 9:20 開始(予定)

大学の部(初級班・中上級班決勝)

2018年12月15日(土) 13:00 開始(予定)

愛知大学 名古屋校舎^{※1} グローバルコンベンションホール(愛知県名古屋市中村区平池町4丁目60番6)

名古屋駅より徒歩約10分 またはあおなみ線「ささしまライブ駅」下車徒歩すぐ

<http://www.aichi-u.ac.jp/profile/campus.html>

※1：駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

4. 参加資格について

出場希望者は以下のすべての条件に該当する必要があります。

※虚偽の申請があった場合、本大会への参加、賞および入賞活動への参加権を無効とします。

高等学校の部

- (1) 日本国籍を有し、東海・北陸地区(愛知県、岐阜県、静岡県、三重県、富山県、石川県、福井県)の高等学校に在籍する高等学校生。
- (2) 両親のどちらも中国語を母語としない者で、参加者本人も中国語を母語としない者。
- (3) 中国語学習歴が1年未満で、中国語圏での学習歴および生活歴のない者。
- (4) 昨年度の本大会に参加者し、いずれの賞(努力賞を除く)も獲得していない者。
- (5) 所定の申請書類を期日までに提出し、本コンテスト実施委員会の審査を通過した者(詳細は8.を参照)。

大学の部

- (1) 中部東海地区(愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、新潟県、長野県、富山県、石川県、福井県)の大学に在籍する大学生または大学院生と、南京大学の一部提携大学(京都大学、奈良女子大学、津田塾大学、静岡大学)に在籍する大学生または大学院生。
- (2) 両親のどちらも中国語を母語としない者で、参加者本人も中国語を母語としない者。
- (3) **【初級班】**
中国語学習歴が1年未満で、中国語圏での学習歴および生活歴のない者。
※昨年度の本大会で初級班に出場し、いずれかの賞(ただし努力賞を除く)を獲得した者は、中上級班へ出場してください。
- 【中上級班】**
中国語学習歴が1年以上で、中国語圏での学習歴および生活歴がいずれも2年を超えないもの。
昨年度の本大会で中上級班に出場した者は、いずれの賞(努力賞を除く)も獲得できなかった者に限る。
※ただし今回参加する際の発表原稿は、未発表原稿とする。

(4) 所定の申請書類を期日までに提出し、本コンテスト委員会の審査を通過した者（詳細は8.を参照）。

5. 実施内容について

高等学校の部

- 朗読（A、Bあわせて4分以内）： A. 自己紹介（1分以内） 時間を超過した場合は減点対象となります。
B. 朗読課題文2編のうち1編を選択（詳細は添付4を参照）。
※自己紹介の際、学校名は名乗らないでください。

大学の部

- (1) 初級班（A、Bあわせて5分以内）： A. 自己紹介（1分以内）時間を超過した場合は減点対象となります。
B. 朗読課題文2編のうち1編を選択（詳細は添付5を参照）。
※自己紹介の際、学校名は名乗らないでください。
- (2) 中上級班（A、Bあわせて7分以内）：
A. スピーチ4分以内：内容は中国に関するもので、自身で準備した作品に限る。
※冒頭、学校名は名乗らないでください。
※原稿提出後に、大幅な変更があった場合は減点となる可能性があります。
B. 回答：スピーチ終了後、審査員による口頭とスクリーン表示形式等による2つの質問が中国語でなされます。
質問は、スピーチに関する内容と江蘇省に関する内容の各1問で、中国語で回答いただきます。
江蘇省に関する資料は、事前審査通過者にのみ、郵送またはメールでご連絡します。

6. 審査基準について

当日、中国側と日本側で構成される審査員により審査し、10点満点で、0.1点単位で点数化します。

- 高等学校の部：A. 自己紹介（4点）：内容、発音、単語や抑揚等
B. 朗読（6点）：熟練、発音、技巧等

大学の部：

- (1) 初級班：A. 自己紹介（4点）：内容、発音、単語や抑揚等
B. 朗読（6点）：熟練、発音、技巧等
(2) 中上級班：A. スピーチ（7点）：内容、発音、技巧や効果等
B. 回答（3点）：正確さ、完成度、流暢さ等

※ 各分野とも、指定された制限時間を超えた場合は減点となります。

7. 賞について

高等学校の部：

- (1) 一等賞 愛知大学賞（3名）：賞状の授与および図書カード1万円
(2) 二等賞（8名）：賞状の授与および図書カード5千円
(3) 中華人民共和国駐名古屋総領事賞（1名）：賞状の授与および図書カード1万円
(4) 記念賞（参加者全員）：記念品贈呈

大学の部：

- (1) 特等賞（中上級班から1名）：賞状の授与および以下よりいずれかを選択可。
ただし、昨年度、中上級班に参加し8日間の江蘇省文化旅行に参加したものは③は選択できません。
①南京大学（修士課程）への留学（2-3年）^{※1}
（中国政府奨学金への推薦資格を授与、中国政府奨学金への審査を通過した場合に以下を適用。
学費・宿舎費・医療保険および毎月の生活費を含む奨学金を支給。航空券等は自費とする。
賞獲得者は2019年1月以降、南京大学のいずれかの研究科へ申請書を提出のこと）
研究科等情報は以下のURLを参照のこと。
<http://grawww.nju.edu.cn/main.htm>
②南京大学での中国語学留学（1 Semester^{※1}）の奨学金（学費）。他は自費とする。
（2019年9月から留学を希望する場合は所属大学の手続きに基づいた上で2019年5月末までに、
南京大学ホームページ上での所定の入力手続きを完了してください（その後、関係書類を受領の際には
400円が必要です））
③8日間の江蘇省文化旅行の参加（2019年8月予定）
往復国際航空券および中国到着後の旅行費用。
(2) 一等賞（11名）：賞状の授与および以下よりいずれかを選択可。

ただし、昨年度、中上級班に参加し8日間の江蘇省文化旅行に参加したものは②は選択できません。

①南京大学での1セメスター中国語留学^{※1}の奨学金(学費)。他は自費とする。

②8日間の江蘇省文化旅行の参加(2019年8月予定)。

往復国際航空券および中国到着後の旅行費用。

(3) 二等賞(16名)

賞状の授与および南京大学4週間の短期中国語留学^{※2}(2019年8月予定)の奨学金(学費)。

(4) 中華人民共和国駐名古屋総領事賞(初級班から1名):賞状の授与および図書カード1万円

(5) 中華人民共和国駐名古屋総領事賞(中上級班から1名):賞状の授与および図書カード1万円

(6) 中日友好平和条約締結40周年記念賞(中上級班から1名):賞状の授与および商品券3万円

(7) 記念賞(参加者全員):記念品贈呈

※ 特等入賞者および一等入賞者が8日間の文化旅行参加権を放棄した場合、主催者は2等入賞者に8日間の文化旅行を選択できる旨の通知を行います。その通知は、大会時の成績上位者から順に通知し、選択いただきます。

※1 ビザおよび航空券等は各自で手配いただきます。なお、留学に関する手続きは、南京大学および在籍する各大学の規程等に基づき、各自行ってください。コンテスト終了後に、南京大学から直接本人に入学に関する方法等が連絡されます。修士課程への留学は1年間の猶予があります(2020年9月入学まで延長可)。

※2 渡航にかかる航空券や、ビザ等は各自手配ください。

8. 申込方法等

高等学校の部

- (1) 必要書類:①参加申込書1通(添付1参照)②所属高等学校の生徒手帳等、顔写真頁(写)1通(モノクロ・A4)
- (2) 申込方法:必要書類を、以下【提出先・問合せ先】まで郵送のほか、①のデータを同連絡先に記載のメールアドレスまで、メール本文に氏名を記載の上、送信提出のこと(①を送信の際は自署サイン箇所は入力してください)。
- (3) 申込締切:2018年10月26日(金)当日消印有効(メール送信提出期限は、同日17時まで)

大学の部

[初級班]

- (1) 必要書類:①参加申込書1通(添付2参照)②所属大学の学生証(写)1通(モノクロ・A4)
③音声ファイルデータ
 - 1.最初に「氏名」「課題文番号」のみを中国語で言ってから、続いて朗読課題文を録音してください(自己紹介および大学名は不要)。
 - 2.音声ファイルはMP3、WMA等のデータ形式で保存してください。
 - 3.ファイル名は「氏名」としてください。
 - 4.音声は鮮明に聞こえるように録音してください。
 - 5.容量等の都合で送信が困難な場合は、以下のURLも参考にしてください。
https://free.filesend.to/fileup_free (アップロード式(無料))
ただし、この方法で提出した場合は、提出した先のURLを【提出先・問合せ先】で指定のメールアドレスまで、必ず連絡してください。連絡がない場合は、受取ができません。
- (2) 申込方法:①②を、以下【提出先・問合せ先】に郵送の上、①③のデータを同連絡先に記載のメールアドレスまで送信提出のこと(①を送信の際は自署サイン箇所は入力してください)。
- (3) 応募期限:2018年10月26日(金)当日消印有効(メール送信期限は、同日17時まで)
※申請者が10名を超えた場合、南京大学関係者による事前審査を行います。

[中上級班]

- (1) 必要書類:①申込書1通(添付2参照)②所属大学等の学生証(写)1通(モノクロ・A4)
③スピーチ原稿(添付3参照。中文・日文の各1通を所定の様式により提出)
④音声ファイルデータ
 - 1.最初に「氏名」「スピーチタイトル」のみを中国語で言ってから、続いてスピーチを録音してください(大学名は不要)。
 - 2.音声ファイルはMP3、WMA等のデータ形式で保存してください。
 - 3.ファイル名は「氏名」としてください。

4. 音声は鮮明に聞こえるように録音してください。
5. 容量等の都合で送信が困難な場合は、以下の URL も参考にしてください。

https://free.filesend.to/fileup_free (アップロード式 (無料))

ただし、この方法で提出した場合は、提出した先の URL を【提出先・問合せ先】で指定のメールアドレスまで、必ず連絡してください。連絡がない場合は、受取ができません。

- (2) 申込方法：①～③を、以下【提出先・問合せ先】に郵送の上、①③④のデータを同連絡先に記載のメールアドレスまで送信提出のこと（①を送信の際は自署サイン箇所は入力してください）。
- (3) 応募期限：2018年10月26日（金）当日消印有効（メール送信提出期限は、同日17時まで）

※いずれの部門も、応募書類は返却しません。

※申請者が10名を超えた場合、南京大学関係者による事前審査を行います。

※応募書類に不備があった場合は失格となります。ご注意ください。

9. 大会参加のための交通費支給について（高等学校の部）

遠方からの参加者（愛知、三重、岐阜、静岡西部地区を除く）には、大会参加のための片道分交通費が一定額補助されます。詳しくは、後日届く大会参加通知をご確認ください。

また、静岡県内の高等学校に通学されている方は「地区」のチェック欄にも記載くださいますよう、お願いします。

10. 大会参加通知について（高等学校の部、大学の部）

2018年11月6日（火）までに、申込者本人にメールおよび郵送にて連絡します。

なお、事前審査、当日審査結果に関する問い合わせは一切受け付けません。ご了承ください。

11. 添付1 高等学校の部 2018年“江蘇杯”中国語スピーチコンテスト参加申込書
- 添付2 大学の部 2018年“江蘇杯”中国語スピーチコンテスト参加申込書(初級班・中上級班共通)
- 添付3 大学の部(中上級班) 2018年“江蘇杯”中国語スピーチコンテスト原稿(中国語版、日本語版)
- 添付4 2018年江蘇杯 高等学校の部 朗読課題文(2編)
- 添付5 2018年江蘇杯 大学の部(初級班) 朗読課題文(2編)

【提出先・問合せ先】※問合せはメールにてお願いします
〒453-8777
愛知県名古屋市中村区平池町四丁目60番6
愛知大学 国際交流課 国際教育推進係
“江蘇杯”中国語スピーチコンテスト実施委員会
E-mail : stglobal@ml.aichi-u.ac.jp